

## 【めむろ未来ミーティング日程 11】

令和6年1月12日(金)

15:00～16:10

- 参加者 7人
- 芽室町 町長、副町長、教育長  
政策推進課長、農林課長、環境土木課長、  
魅力創造課参事
- 記録 広報広聴係

## ■対応・検討が必要な事項

- ①渋山地区林業研修センターのトイレの使い勝手が悪い(都市経営課)
- ②トラクター牽引の申請について(環境土木課)

- 1 開会
- 2 町長挨拶
- 3 町からの説明事項
  - 資料1 公共施設再配置構想
  - 資料2 新嵐山スカイパークの在り方
- 4 意見交換

## 【参加者】

新嵐山の件について。近くを通ると、山の上から滑った跡があるように見える。町としては現況を把握しているのか。

## 【町長】

会計年度職員を雇い、1日2回新嵐山の施設をパトロールしている。ただ、24時間常時監視しているわけではない。いわゆるバックカントリー的に自分達で登って、降りてくる方がいる可能性はゼロではない。

管理区域内には今は入れない状態になっており、看板などでお知らせを強化するような必要はあると認識している。しかし、どこか場所からどう侵入してくるかは分からないので、全てを防ぐことはできないと思う。こちらとしては看板、掲示を含め入ってはいけない旨

の警告をしているので、そこで何か事故があったときには自己責任になる。

立ち入り禁止区域にどんどん人が入ってくるような状況があれば、パトロールを強化していく必要はあると思う。なかなか昼間ずっと常駐するわけにもいかず、どうしても限られた中での対応になってしまう。お近くを通った際、何かお気づきの点があればお知らせいただきたい。

## 【参加者】

入ってはいけないと、いくら言っても入る人はいる。登山道は入っても良いエリアなので、そこから登って散策して下を見たら、つい降りたくなるのでは。

100%は見られないのは理解もするし、何かあったときは自己責任といえども、実際何が起こるかわからない。看板・掲示だけでなく、色々な形を使って厳重に周知しておくべきではないかと思う。

また、再開に向けては現状の設備を使う前提としてのスタートを想定していると思う。全てのものを冬の間動かさなくては動かなくなるというのは十分承知の上だと思うが、どこまできちんと維持管理されているのか。保全にそれなりのお金は動くと思っていて、リフト、水道、電気すべての施設が再開できるような維持管理をしているのかお聞きしたい。

## 【町長】

1月25日までは、破産管財人の関係で施設内には入れない。ですので、冬場にリフトだけを動かしてスキー場を稼働させるといったこともできない。そういったこともあり、今シーズンの営業は断念した。しかし、来年のシーズン稼働に向け、夏場くらいから点検や試運転を行っていききたい。最低限の規模の営業になるかもしれないが、何とか直営でもやっていききたいと考えている。

人件費をはじめ、さまざまな経費がかかると予想されるので、まずはあり方、骨格をしっかり組み、スキー場が存続する方向で確定させていききたい。予算は追っての算出となるが、皆さんにお知らせする中で理解をいただくことになると思う。

町内を回っているとさまざまな意見があり、スキー

場はそもそも要るのかという声もある。資料4ページに書いてある未来ミーティング、説明会は7時間行い、アンケートは135件、ホットボイスも議会宛のものを含め100件以上来ている。こういった意見を総体的に町として分析し、何を残すのかという案を作り、3月くらいに皆さんに説明する機会を設けたい。段階ごとに、随時そういった話し合いが必要だと思っている。

立ち入り規制について、先ほども申し上げたように、強化を考えたい。しかし、本当にやりたい人は規制線を張っても乗り越えて入ってきてしまう。マスコミやホームページを利用し周知してしまうと、逆に入れる状況であると捉える人が出るかもしれない。

#### 【参加者】

新嵐山の破綻について。破綻する前にこういう話し合いが必要だったのではないかと思う。会社にも経営方針があり、当然経常利益をあげなくてはならない前提があるのは分かる。しかし、町民から見れば公園施設、福利厚生施設の面が強い山だった。

町民としてあるべき姿が本当にどこだったのか、見失っていた部分もあるのではないか。町としても、これだけのことは公園として、福利厚生施設として残したい、学校教育施設として残したいという強い思いがあればこういう結果にもならなかったように思う。

これからプランを策定するにあたり、町・町民、それ以外の人たちとしても、どういう場所にすべきか、必要なもの・そうでないものをしっかり整備し未来永劫残る施設にしていきたい。

#### 【町長】

経過からお話すると、令和4年度の決算が5月くらいに出て、なかなか経営がうまくいかず、資金繰りも2年連続で悪化という状況が続いていた。私としてはコロナ禍も下火となり、これから借入金も少なくできるのではという期待があった。

ただ、このまま第3セクターでやっていけるのか、指定管理期間で借入金を整理できるのか考えたとき、やはり難しいという判断に至った。それが昨年7月であり、その後議会の否決はあったが、指定管理期間を伸ばさせていただき、次の担い手にシフトしたいという考え

があった。町としては議会の議決云々の前に、第3セクターでの経営は難しいだろうとの考えがあった。

結果論だが、町民の代表の議会から否決されたということで、私としてもそこに固執することはない。これからどうするのか、議会の皆さんから提言いただいたところ、山を残す前提で、それが総意であると言われた。町も一生懸命考えるので、議会と協同していこうという雰囲気。対立している感覚もなく、近々、担当者・議会の方々にスキー場の運営を指定管理で行っているところに視察に行く予定。

福利厚生施設のお話ですが、条例というルールが町にはあり、そこでは町民の憩いの場という目的と、観光の振興という2つの目的を持っている。私の考えとして、今後は観光の部分は民間の方にある程度お願いする部分はあると思っている。町民の憩いの場、町民還元、町民事業、こういうものは公共が予算を立てていく。その方が、役割分担がはっきりして良いのではと思っている。町民還元の部分が少し赤字であっても、それは町民に対するサービスとして皆さんにご理解いただくようお願いしたいと考えている。

#### 【参加者】

農村部の公共施設について。渋山の林業センターは建て替えの予定はないかお聞きしたい。

#### 【政策推進課長】

この施設は耐震化されており、建て替えの予定はない。しかし、耐震化されているとはいえとも老朽化しているため、今後長寿命化する予定となっている。現在の予定では令和9年以降。

#### 【町長】

耐震は昭和56年が基準になっており、その前に建てられた会館から改修改築を進めている。渋山地区林業研修センターは昭和57年に建てられており、このような順番となっている。仮に令和9年に長寿命化ということになれば、その1年前、令和8年あたりから地域にいろいろお話を聞きに行くような形になる。

#### 【参加者】

この上芽室農業研修センターはいつ建てられたのか。

【町長】

昭和55年となっている。耐震基準が56年から急に厳しくなっており、以降は耐震構造としてはしっかりやっているとこの考え。こちらの建物はそれ以前の基準なので、優先的に建て替えなくてはならない。

【参加者】

渋山の側から見れば、建物の造りはほとんど同じなのに、耐震基準の1年前か後かで改修の年に違いが出ている。これは耐震診断をされて、あと4、5年は大丈夫というものなのか、それとも昭和56年の基準で建てられているから大丈夫だろうという判断なのか。

【副町長】

見た目は同じに見えるかもしれないが、56年に基準が変わっているの、例えば中の筋かいが圧倒的に多いなどの違いがある。新しい基準で建てなくては建築の許可が下りない。以降に建てたものは確認申請を通っているの、耐震性ありという見方をしている。実際に全部開けてみると傷んでいる部分もあるのかもしれないが、昭和56年を基準として、それ以降は構造上、耐震基準があるという判断になる。

【町長】

57年の建物なので、老朽化が激しいというのは理解する。一覧を見ると渋山、平和、高岩くらいまでが昭和63年までに建てられている。長寿命化で抜本的な建て替えにはならないが、改修でいろいろなものを綺麗にするなど、地域から使い勝手をお聞きし対応することはできる。

【参加者】

① トイレの使い勝手が特に良くない。無理に洋式に変えているので、狭い。足が不自由な方は使えないのではと思う。

【町長】

担当課で一度確認する。

【参加者】

少年団について。水泳少年団がなくなったと聞いているが、なぜか。

【教育長】

団員数が減ってきて団として成り立たない、そこで解散の判断をしたと聞いている。

【町長】

町や教育委員会が何かを言ったとか、やったというのは正直ない。せっかくプールもできたので、むしろ続けてほしい気持ちはあった。少年団ではなく、帯広などのスイミングスクールに通う方も出ていると聞いている。町は全く無関係であるというつもりはないが、解散は少年団側の意向。

【参加者】

団員も多く、解散の理由も聞かされていなかったの、気になっていた。

【町長】

指導者、運営の問題など、我々にも分からない部分はある。

【参加者】

少年団は誰が指導しているのか。

【教育長】

ものによるが、教員が指導していることが多い。地域の方がやっていることもあり、種目によってまちまちである。地域の方の要望を受け、指導できる教員が指導を受け持つことはある。しかし、全員ができるわけではない。

【参加者】

指導者がいないときには、教育委員会に相談すれば良いということか。

【教育長】

要望としてお聞きすることはできるが、コーディネーターは教委の本務ではない。人材がいらないか、声掛けや相談はできると思うが、委員会が主導で人材を確保することにはならない。今後部活動を含め、地域に移行し持続可能な形を目指すことになる。少年団も同じ方向で進むことになるので、何とか人材を発掘していきたい。子ども達が楽しく、やりたい種目に取り組めるよう、可能な限りやっていきたい。

令和5年から7年にかけて移行の推進期間、令和8年からは完全移行というのが国の考えだが、現状そうはならないと思っている。教員でも少年団、部活動に協力したいという者も何割かおり、それで指導者登録をしながらやっていくことになると思う。しかし、教員には異動があるため、安定的な運営には地域の方の協力が不可欠と考えている。

【参加者】

少年団の先生の給与を増額することはできないのか。試合の引率や審判などもあり、交通費もかかり大変だと思う。

【教育長】

後援会費で賄う状態。町として、後援会費に対する支出はおこなっている。部活動だと、大会によっては全道・全国大会で町、道から出る部分はある。部活動は学校教育の一環として謳われているが、少年団は学校教育の枠から外れており、お気持ちは理解できるが、なかなか難しい。

【参加者】

部活動関連ですが、西中学校を無くしてはどうか。人数がおらず、部活動が成り立たない。

【教育長】

学区については様々な意見をいただいているが、まず学校教育自体、部活動優先ではない。

【参加者】

しかし、それで差が出てしまうのはかわいそうではないか。わざわざ西中の子が芽中の区域に引っ越している。そんなことをさせるのはおかしいのではないか。

【教育長】

部活のためだけに学校を統合というのは、理解を得られない。

【参加者】

子どもの数が増えたから西中を作ったのなら、子どもの数が減ってきている現状、西中を無くしても良いのでは。

【教育長】

西の校区も、子どもが減っているとはいえ小中2クラスずつ安定的に生徒数を確保できている。逆に芽室中の方が4クラスあったのが3クラスとなってきており、割とバランス的には極端に変わる状況ではない。西小・西中もあの規模だから、細かな指導ができるというふうに捉える方もいる。

今の学校配置計画が令和8年までとなっており、8年度に次の計画が決定する。6、7年と地域によって協議を進めていくところもある。その中でそういった声が大きくなれば、考えが変わることもあり得る。

【参加者】

9年間一緒に、子どもに刺激が足りない。下手すると保育所からずっと一緒なので、人とコミュニケーションが取れなくなると思う。中学校は一緒にしてくれた方がクラス替えはあるし、早くからやってほしかった。

【教育長】

2クラスあると、学級編成のなかでクラス替えはできる。最低その基準をクリアしようということで配置計画が作られている。ただ、町全体の出生数も100人ほどに減ってきている。令和8年の配置計画のときには、その先10年近くを見据えながら、計画を策定していくことになる。上美小・上美中の統合問題も起きており、西小・西中だけでなく芽小・芽中含め将来的に町全体のことを考えていかななくてはならない。

現計画は平成30年に地域、学校への説明を行い、了解を得て策定している。先のことについては、ここ数年でまた配置計画を決めていくため、改めてご意見をいただきたい。今すぐに統合というわけにはいかない状況。

#### 【町長】

教育行政について町の方で言えない部分もあるが、少年団については地域移行の面で部活と同じように考えていかななくてはならない。そのときに指導者の処遇については町として考えていかななくてはならない。全部ボランティアでやってくださいという話にはならないと思う。これからの議論の中では、指導者に対してどういった条件を出せるか、それに対して必要な経費含めて、それを出してやってもらう形にしなければならない。

子どもの数は減ってきており、今回二十歳の集いの案内対象が239人。これは最近では多いくらいで、20年後はこれが8、90人くらいになる。こうなると、すぐにはならないが小中を一校に統合するという話が出てくると思う。

学力向上の観点からいうと、芽室町は30人学級を目指している。通常35人、昔であれば40人でやっていた。これを少なくすることで、目が行き届く、学力を付けられるようにやっていきたいと思いますという取り組み。その中で何クラスが良いのか、部活動はどうしたら良いかという議論になると思う。野球も昔は芽中・西中の合同チームなど考えられなかったが、今は実態としてそうなっている。西中の子ども達は、特に団体スポーツについてはかわいそうだなという感覚はある。急激には変えられないところもあるので、学区の見直しの際にしっかり議論していく必要があると思う。

#### 【参加者】

西地区の公営住宅について。西側の地区は古い建物で空き家が多いように見える。将来的にどういう方向に持っていく、どういう居住区にしていくという計画はあるのか。

それに合わせて、今はまちなかが賑やかに見えない。駅前通りも含めて、商店も非常に少なくなっている。去

年まちなか再生ということで話を進めていたと思うが、空き店舗や空き家をどうしていく構想なのか、現段階で決まっているものがあればお聞きしたい。

公営住宅は東西にもたくさんあり、道営住宅も空き家だらけという気がしている。人口減はどうにもならない部分もあるが、流出を下げ流入してくるようなスタンスを取れないのか。札幌近郊でいえば南幌町が子育てをしやすい事業をしているとか、近隣にはない手法で人を集めていると聞く。

芽室も十勝の中で悪い場所ではないと思うが、10年後には人口が1万3、4000くらいになってしまうという試算を見た。農村部も今経営戸数が500くらいで、10年すると自然淘汰だけで50ほど減ってしまうのでは。

#### 【副町長】

公営住宅については、農協の北側に西園団地という平屋の区画があり、半分くらいしか入っていない。ここは老朽化しているのでも、建て替えるよりも、まちなかに民間の方に建ててもらって、ここに移転してくださいという政策をおこない、一棟丸ごとなくなったら取り壊すという発想。ただ、跡地利用については単純に宅地で売る方法もあるが、条件の良い場所なので、住宅ではないような土地利用も考えていきたい。

西方面の2階のメゾネットタイプの古い公営住宅は、既に取り壊し始めている。弥生の、ダイイチ東側についても入居者が半分もいない。そこは条件が良いので、取り壊して宅地として売却予定。そこで財源を稼がなくては回っていかないと、居住者は高齢の方が多いので、利便性を考えまちなかに移転してもらうよう考えている。

#### 【町長】

借り上げ公住というのを民間でやっていただくよう募集しているが、建設費も上がっており手が挙がってこない状態。そうなると、空いているアパートとマッチングして、家賃補助をさせていただいて公営住宅に入るような形にするとか、町がマンションやアパートを借りるか、そのような形も考えなくてはと思っています。

今はまちなかでマンションや家が結構建っており、

浄水場付近の土地も民間に売ったところ、完売となった。芽室は自然減、お年寄りを中心に亡くなっており出生数が少ないため人口は減っているが、転入転出の差し引きはプラスで、社会増となっている。なので、1万8000人を切ったが、ずっと1万7900と何十人で持ちこたえている。

公営住宅を取り壊して宅地造成をすると、今だったら人が来てくれるのではという感覚がある。しかし、西園団地を取り壊して宅地造成をしたとき、果たして本当にニーズがあるのか分からない。したがって、違う用途についても考えなくてはならない。

まちなか再生は今いろいろな動きが若手中心にあり、町としても起業をする人に対し最大200万円補助するという制度を去年から始めている。そういった影響もあり、空き家をリノベーションするなどの動きが出てきている。まちなか再生は方向性や役割分担は一応の整理ができており、これからは実践の段階となる。もう少しお時間をいただき、動きを注視いただきたい。

直接の効果があるのかは分からないが、現在、不動産をメインとしたノウハウを持った地域おこし協力隊も募集している。こういう空き家はこう使ったら良いというコーディネート、地権者との折衝も含めやっていただきたいと考えている。

#### 【参加者】

古い公営住宅は築50年以上になっており、早急に入居者の移転先も決めていかななくてはならない。お金や時間のかかることなので、構想がないとやりづらいのではと思う。工業団地も新しく鉄道南側に入れるとなると、芽室であれば完売すると思う。そういったチャンスでは、やはり住も一緒にスタートしなくてはと思う。

#### 【町長】

公営住宅は古い分、家賃が安い。新しいところに移ると、どうしても家賃が高くなってしまふ。まちなかへの移転は声をかけてはいるが、特にお年寄りは、安い家賃でここにずっと住みたいという方もいる。

居住権のこともあり、全員が退去したときに初めて取り壊しということになる。勝手に進められないという課題もある。

#### 【参加者】

公衆浴場の整備として、温泉を設置できないか。新嵐山もなくなり、プールに多少の施設はあるがタオル一つで行ける施設ではないのでは。

#### 【町長】

まちなか再生の議論の中でも、温浴施設は一つの課題となっている。しかし、鳳の舞さんは民間でされており、今のところ再開の見通しはない。プールの方は自主事業として、あくまで利用者に対するプラスアルファのサービスという感じでやっている。ですので、町民の憩いの場という形で考えていない。

鳳の舞がなくなったときから私自身も課題として捉えており、まちなかに何とか温浴施設ができないかと考えている。まちなかに今は宿泊施設がないので、宿泊と温浴施設の機能を合わせたものがあればと考えている。今はいろいろ調査を行っている段階であり、詳細をお示しできるものはない。

#### 【参加者】

コロナ禍が収束し、人の流れが出てきている。例えば体験学習や実習生を受け入れたとき、宿泊施設や温浴施設がないと一軒家では全員をお風呂に入れられない。ぜひ考えていただきたい。

#### 【町長】

先ほどの話から直営を想像されるかもしれないが、民間事業者を何とか引っ張ってくるという感覚で、今調整をしている。芽室はまちなかに意外と土地がない。上手く調整できればと思う。

#### 【参加者】

渋山南の地区で、会館前の明渠が埋まってしまった。昨年に対応を要望したが、なかなか回答が来ず、12月前くらいになってできないと言われ、地元の人達でできる範囲で対応した。今年は計画に入れてほしい。

#### 【町長】

距離はどのくらいか。



【参加者】

100m くらいやってもらえば、だいぶ良くなると思う。  
雨のたび少しずつ埋まっていった。

【農林課長】

戻りしだい担当に伝え、計画に入れられるようにしたい。予算は大枠で修繕費を持っており、具体的にこの場所というような計画も持っているが、ある程度突発的に起こるものはあるので、要望をいただいているのであれば優先的に考えたい。

14 時 15 分終了



【MMM 後の Googleform による意見①】

② トラクターで農機具(幅が 2.5 メートルを超える)  
を牽引するときの申請をしなくても良いようにしてく  
ださい。

【MMM 後の Googleform による意見②】

氷灯夜の時に総体の駐車場を使わないで下さい。総  
体の利用者が車を止められません!

※②については、氷灯夜実行委員会宛にご意見として  
転送しました。